

僕と私たちの防災のまち（その②）

◆小中学校で避難訓練を行っています◆

区内の小中学校では、いざという時にすばやく避難ができるように、月に1回、避難訓練を行っています。避難訓練は、建物から屋外への避難、安全な避難場所への避難など、学校独自の方法で行われています。

また毎年9月には、学校にいる時に子ども達が災害にあった場合、安全に親元へ帰れるように、保護者による引取り訓練も行っています。



東浦小学校での避難訓練の様子

我が家でできる防災対策（その②）

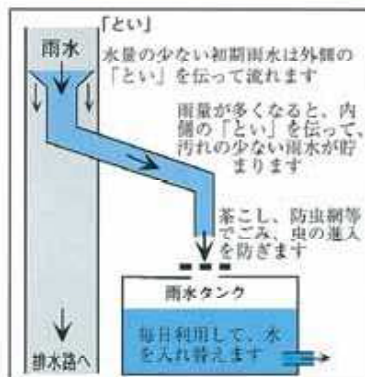
◆雨水を利用して防災対策◆

大災害時の火災には、大量の消火用水が必要です。防火水槽や消火栓などで水は準備されていますが、安全なまちのためには一層の水の確保が必要です。

水を確保する方法に、雨水の利用があります。これは、集中豪雨時に雨水が一挙に下水道に流れ込むのを防ぐなど、風水害にも役立ちます。

雨水の利用には、ごみや塵などを多く含む降り始めの雨水を貯めない、水を腐らせる落ち葉などをタンクに入れない等の工夫が必要です。

ボウフラの発生も気になりますが、防虫網などを取り付けたり、庭木の散水、打ち水などで毎日利用して水を入れ替えれば、あまり心配はないようです。



雨水を上手に利用する工夫

編集後記

「防災まちづくりの会」のテーマの一つに「燃え広がらないまちづくり」があります。このためには、地域の皆さんが日々の生活の中で防災を身近なものと感じ、意識し、できることから行動する。その心がけが大切と考えられます。私たちは、防災まちづくりニュースの中で分りやすく、そして役立つ内容を念頭に今後ともお伝えしたいと思います。（青）



大森中・蒲田・荏谷地区 防災まちづくりの会 構成団体	
左記の団体からの代表と公募住民の47名の会員で活動しています。	
川端自治会	東浦田二丁目南町会
大森山自治会	南浦田一丁目自治会
大森山自治会	南浦田二丁目町内会
本宿町会	南浦田三丁目町会
大森中八幡自治会	新沼町会
北橋谷一丁目自治会	大森第一小学校PTA
西橋谷一丁目町会	北橋谷小学校PTA
西橋谷二丁目町会	橋谷小学校PTA
西橋谷三丁目町会	東浦田小学校PTA
西橋谷四丁目町会	南浦田小学校PTA
大森中八幡自治会	大森東中学校PTA
東浦田一丁目自治会	橋谷中学校PTA
東浦田二丁目町会	東浦田中学校PTA
東浦田三丁目町会	公暮佐良

大森中・蒲田・荏谷地区 防災まちづくりニュース NO.8

平成14年3月

大森中地区 防災生活圏促進事業

編集：大森中・蒲田・荏谷地区防災まちづくりの会

発行：大田区 都市環境部 都市整備課 TEL 5744-1338

（平成14年4月より、まちづくり推進部まちづくり課に名称が変わります）

防災まちづくり手帳をつくりました

防災まちづくりの会では、平成13年度の活動の締めくくりとして、「防災まちづくり手帳」を作成しました。この手帳は、まちに愛着を持ち、「逃げないですむまちづくり」を行うために、「防災まちづくりの会」の活動を通じて、地区のみなさんに知っていただきたいことをまとめたものです。

作成にあたっては、この大森中・蒲田・荏谷地区独自の内容とすること、読んでもらえる手帳として分りやすい表現にすることに注意し、工夫をしました。

例えば、いつでも手にとり見られるように、目につく場所に貼るための穴が開けてあります。フックにかけたり、ひもを通してドアノブにかけたり、常日頃から利用していただければ幸いです。

「非常連絡先カード」という、みなさんが各自記入して携帯していただける欄もつくりました。是非、ご利用ください。



ひもを通して、目につくところに付けてください。

西荏谷に防災広場を整備中

呑川に面する西荏谷二丁目目の区有地で、防災広場の整備が進められています。

この用地は、公園・広場等による防災空間づくりを進めるため、防災生活圏促進事業の一環として区が取得したものです。

地元の西荏谷二丁目町会の方々と区担当者が意見交換を行い、計画を進めているそうです。雨水貯水槽、非常時には「かまど」として利用できる椅子の設置など、いざという時にも役立つ防災広場として、この春、完成の予定とのことです。

完成後は、安全、安心な公園として、日頃から利用されるよう、地域の方で見守っていきましょう。



防災広場予定地

防災まちづくりフェアを開催しました

昨年11月25日(日)に当会主催による2回目の「大森中・蒲田・荏谷地区防災まちづくりフェア」を開催しました。当日は気持ちの良い晴天のもと、200名以上の方に参加いただき、防災の必要性などについて学ぶことができました。



防災専門家の講演と災害を想定した意見交換



講演会会場の様子



消防機材ゲーム(ロープ結び講習)



非常食の調理・試食



投てき水バックによる消火体験



スタンプラリー抽選会

来場者アンケートから

- ・ニュースで恐ろしいことを聞くとドキッとしますが、すぐに忘れて無防備になってしまふ。このような催しで再度気づかせていただいてありがたいと思う。
- ・講演会では災害が起きてから各々が取べき行動を具体的に、順を追って確認できた。

参加した会員などの感想

- ・アルミカンを使ったコンロ作りやロープ結びの体験、講演会などに多数の参加を頂きました。このイベントを通じて、自らの街を自らで守るというまちづくりの目標が、少しでも参加された方に伝わっていればよいなあと感じます。

西荏谷タウンウォッチングを行いました



荏谷小学校の備蓄倉庫に乾パン、水、毛布、おむつ、発電機などがありました。



助成制度を利用して狭い道路が広がった場所を見学しました。



事業所でフォークリフト等を見学。その威力に力強さを感じました。

1月26日(土)の午後、西荏谷地区のタウンウォッチングを行いました。これは、自分達の住むまちを良く知り、防災まちづくりに必要なことを考えようという目的で行ったもので、24名の当会会員が参加しました。雪が降ってもおかしくないほど寒い中でのタウンウォッチングでしたが、実際に道路が拡幅された場所や防火水槽の場所などが確認でき、有意義な会となりました。

タウンウォッチングで感じたこと

狭い道路などについて

- ・狭い道路がまだあることに気が付いた。
- ・隅切り^{※1}の重要性を感じた。
- ・狭い道路^{※2}について、意外と必要性、整備の手段が理解されていないのではないかと感じた。
- ・用水堀あとにできた道路は、曲がりくねっていて危険であった。

広場、公園について

- ・一時集合場所の看板がほしい。
- ・避難場所(一時集合場所)の分布が偏っているようである。
- ・駐車場が多く見られたので、災害時に利用できるような協力は得られないか。

水の確保・利用について

- ・防火水槽の近くに市民消防隊のポンプ小屋があり、便利だ。
- ・災害緊急時の飲料水槽が見あたらなかった。
- ・香川の水の利用を考えてほしい。

地区内の協力、協定づくり

- ・防災機材(フォークリフトなど)を持っている事業所と町会とで災害時の協定を結んでいきたい。
- ・地区にある行政施設の職員、病院などとの協力を考えていきたい。

その他

- ・荏谷小学校は、備蓄倉庫が1階にあり便利だ。
- ・香川は、災害時に水路として役立つと思うので、資材を引き揚げたりする場所を確保したらよい。

主な視察内容

- ・西荏谷二丁目防災広場予定地
- ・狭い道路拡幅整備助成制度活用事例
- ・フォークリフト、カーゴクレーン等(災害時の救助協力の可能性)
- ・一時集合場所

※1 隅切り:交差点で見通しを良くし、通行しやすくするため、敷地の角を切除する部分
 ※2 狭い道路:道路として利用されながら、4m未満の幅員の狭い道路